

重点課題	具体的な取組	指標	回答者	評価の観点	判定基準				目標	結果		達成	1年を通しての成果と課題	次年度への提言
					A	B	C	D	A+B	1学期	2学期			
学力の向上 ◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ○家庭学習の充実 ○読書活動の推進	①意見をつなぎ、深め合う授業づくり(ICTの活用を含む)	1 取組	教科担当者	児童が意見をつなぐための手立てや考えを広げ深めるための手立て(ICTの活用を含む)を取ることができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	100%	100%	100%	○	・発表の意識は高まっているように思う。高学年は子どもたちの振り返りがBならば、十分意識づけができていないかと思う。 ・子どもたちは自分の意見を言うのは好きであるが、友達の意見を参考にする意識が少ない。 ・学びがあったことは見えてよく読み取れたが、最後まで授業の重要な点をそれぞれ聞き取れていないと思うことがあった。	・大事な所はどこだったのか、授業の中で教師が十分、返しているか。 ・よい。
		2 成果	児童	分かりやすく自分の考えや思いを伝えることができたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	90%	85%	96%	○		
		3 成果	児童	自分の考えと比べながら聞いたり、大事なことを考えたりしながら聞くことができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	90%	94%	86%	×		
		4 成果	児童	他の人の意見を聞いて、自分の考えを広げたり深めたりすることができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	90%	86%	91%	○		
	②進んで取り組む家庭学習	5 取組	教科担当者	家庭学習の必要性を意識づける指導ができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	100%	100%	100%	○	・学びノートが、少しマンネリ化しているようになってきた。取り組む意義をもう一度、教師と児童で確認の必要がある。 ・学びノートの充実が必要である、学びノートを活かして「楽しむ教育」を実践していく必要がある。 ・各学年ともアイディアやテーマに困っていたようであった。	今後も家庭学習で足りない所は、学びノートで補えるかと思う。内容を充実させるためにも予習の内容でもよい、総合的な学習の時間でもよいと思う。 ・ノートの中身を充実させるためには、担任から具体的な課題を出すことも心掛けるとよい。また、よいノートのコピーを掲示するなど、紹介し合う工夫をするとよい。教師が広がりのある題を出すことも大事である。
		6 成果	児童	家庭学習(学年×10分)に取り組むことができたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	90%	87%	85%	×		
		7 満足	保護者	お子さんは学年に応じた時間(学年×10分)、家庭学習に取り組むことができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80%	87%	86%	○		
	③読書に親しむ手立ての工夫	8 取組	教科担当者	読書に親しむ手立てを工夫しましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	100%	78%	89%	×	・じっくり時間をかけて、巡回図書に取り組めなかった。せつかくの機会なのでもっと積極的に活用できるとよい。	・学校に対して、保護者はとても協力的である。朝の読み聞かせは4年生まで行ってもらっているが、ブックトークも含めて、5・6年生してもらえるとよい。
		9 成果	児童	本を読むことが好きですか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかと言えそう思わない	思わない	90%	86%	85%	×		
		10 取組	保護者	ノーメディアや読書月間での学校の取り組みに参加できましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80%	95%	95%	○		
支え合う集団の育成 ◎自己有用感の育成 ○人権意識の高揚 ○多様性の尊重、インクルーシブ教育の推進	①児童個々が活躍できる場の設定	11 取組	教職員(事務職、支援員以外)	それぞれの児童が活躍できる場を設定しましたか。	常に心掛けて指導した	おおむね指導できた	あまり指導できなかった	指導できなかった	100%	100%	91%	×	・C・D評価の児童に対して個別に支援していく。学級全体への支援も継続する。 ・C・D評価の児童が分かれば個別に支援していく。学級全体への支援も継続する。 ・きめ細かな個別支援と全体指導を併用しながら、よりよい集団の育成を目指していく。担任が中心ではあるが、全ての教員が学校全体を見ていく雰囲気と教員間の共通理解が大切。 ・学級での取り組みや、子どもの様子、担任の考えなど、保護者との連携を強化していく。 ・19については、毎年学級だより等で発信していく必要がある。	
		12 成果	児童	学校での活動に自分なりの目標を持ち、主体的に(自分の考えをいかながらねば強く)取り組めましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80%	90%	93%	○		
		13 満足	保護者	お子さんは学校での活動を楽しみにしていましたか。	そう思う	どちらかといえそう思う	どちらかと言えそう思わない	思わない	80%	98%	100%	○		
	②力を合わせて取り組む場の設定	14 取組	教職員(事務職以外)	違いを認め合い、互いを思いやった言動ができるように指導しましたか。	よくできた	おおむねできた	あまりできなかった	できなかった	100%	100%	100%	○		
		15 取組	学級担任	いじめを早期発見できるように、定期的にアンケートや面談を実施しましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	90%	100%	100%	○		
		16 成果	児童	相手の気持ちを考えて行動しようとしたか。	よくできた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80%	93%	93%	○		
		17 成果	児童	アンケートや面談等を通して、悩みや不安があった時は誰かに伝えることができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80%	85%	91%	○		
		18 満足	保護者	お子さんは友だちと仲良くしていましたか。	そう思う	どちらかといえそう思う	どちらかと言えそう思わない	思わない	80%	99%	99%	○		
		19 満足	保護者	学校はアンケートや面談を実施する等、子どもの不安等を把握する取組を行っていましたか。	そう思う	どちらかといえそう思う	どちらかと言えそう思わない	思わない	80%	90%	96%	○		
	③お互いを認め支え合う、違いを尊重し、違いをいかにする場の設定	20 取組	教職員(事務職、支援員以外)	児童がお互いにそれぞれのよさを実感できる場を、計画的に設定しましたか。	できた	おおむねできた	あまりできなかった	できなかった	100%	100%	91%	×		
		21 成果	児童	クラスや縦割りでの活動で、友達のいいところに気付くことができましたか。	そう思う	どちらかといえそう思う	どちらかと言えそう思わない	思わない	80%	98%	99%	○		
		22 満足	保護者	家族の一員として、家庭でお子さんの頑張る場面がありましたか。(お手伝い等)	そう思う	どちらかといえそう思う	どちらかと言えそう思わない	思わない	90%	93%	93%	○		

重点課題	具体的な取組	指標	回答者	評価の観点	判定基準				目標	結果		達成	1年を通しての成果と課題	次年度への提言	
					A	B	C	D	A+B	1学期	2学期				
基本的 生活習慣の育成 ◎気持ちの良い挨拶 ◎望ましい生活習慣の確立 ◎健康・安全、体力づくりの推進	①児童が主体的に取り組む挨拶運動	23 取組 教職員	進んで気持ちの良い挨拶をするように指導しましたか。	指導した	だいたい指導した	あまりできなかった	できなかった	100%	100%	100%	○	・睡眠・朝食・テレビ等視聴時間の改善、スマートルールの徹底に関する項目が、学校、児童、保護者で全て目標が達成できなかった。学校の目標が達成できなかった理由として、指導の頻度など曖昧な部分があるため、十分に指導できなかったと回答されている場合が考えられる。保護者や児童の目標達成できなかった理由として、1学期に比べて、スマートルールについて忘れていたり、意識が薄れたことが考えられる。 ・35の睡眠時間が守れなかった理由として、習い事がある。そのため守れなかったと回答する児童がいると思われる。	・スマートルールについて、ルール決めが各家庭任せになっている。家庭によっては、ネット時間が平日3時間、休日4時間というようなルールになっている家庭もある。そのため、学校側でルールについて、細かく規定したテンプレートのようなものを用意して、その範囲内で各家庭で決めてもらうようにするとよいのではないかと考える。 例：1日のネットの使用は()時間以内にする ※1～2時間の間をお願いします。 ・ノーメディアデーが設けられているが、ノーメディアから、メディアコントロールにしていきたいと考える。メディアと上手に付き合っていくためである。 ・守れない児童に対しては、個別に話を聞き、守れなかった理由を聞いて指導をしていく。 ・習い事を理由に睡眠時刻が守れないという児童に対して、睡眠時刻に少しでも近づけるように努力することを指導する。守れなかったからいつまでも起きていたらいいではない		
		24 成果 児童	低学年：元気にあいさつすることができましたか。 高学年：進んであいさつすることができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	90%	98%	95%	○				
		25 満足 保護者	低学年：お子さんは、家庭でのあいさつができていましたか。 高学年：お子さんは、家庭での挨拶が自分からできていましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	90%	95%	95%	○				
		26 満足 地域	三宅小の児童は自分から挨拶をしますか。	している	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	していない	80%	83%	100%	○				
	②睡眠、朝食、テレビ等視聴時間の改善、スマートルールの徹底	27 取組 学級担任	ネット利用や情報モラルについて学年に応じた指導をしましたか。	指導した	だいたい指導した	あまりできなかった	できなかった	100%	100%	86%	×				
		28 成果 児童	家庭で決めたスマートルールを守ることができましたか。	守れた	だいたい守れた	あまり守れなかった	守れなかった	90%	94%	82%	×				
		29 満足 保護者	お子さんは、家庭で決めたスマートルールを守ろうとしていましたか。	守ろうとしていた	だいたい守ろうとしていた	あまり守ろうとしていなかった	守ろうとしていなかった	80%	94%	78%	×				
	③「新しい生活様式」も踏まえた、健康に対する意識の向上	30 取組 教職員	(運動)体育的行事に向けて、児童の意欲を高めるような指導ができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	100%	89%	92%	×				
		31 取組 教職員	(食事)朝食を毎日食べるように指導することができましたか。	指導した	だいたい指導した	あまりできなかった	できなかった	100%	90%	100%	○				
		32 取組 教職員	(睡眠)約束した時刻までに寝られるように指導しましたか。	指導した	だいたい指導した	あまりできなかった	できなかった	100%	90%	100%	○				
		33 成果 児童	(運動)体育的行事では、自分なりの目標を決めてがんばることができましたか。	できた	だいたい守れた	あまり守れなかった	守れなかった	90%	92%	96%	○				
		34 成果 児童	(食事)朝ごはんを毎日食えることができましたか。	守れた	だいたい守れた	あまり守れなかった	守れなかった	90%	99%	0%	△				
		35 成果 児童	(睡眠)約束した時刻までに寝ようとしていましたか。低学年⇒9:00 中学年⇒9:30 高学年⇒10:00	寝ようとした	だいたい寝ようとした	あまり寝ようとしなかった	寝ようとしなかった	90%	87%	82%				×	
		36 満足 保護者	お子さんは、規則正しい生活(運動・食事・睡眠)をしようとしていましたか。	しようとした	だいたいしようとしていた	あまりしようとしていなかった	しようとしていなかった	85%	98%	95%	○				
	家庭・地域との連携 ◎地域人材の活用 ◎地域・ふるさと学習の充実 ◎活動の積極的な発信	①地域の方の参画による学習の充実	36 取組 教職員(事務職、養護教諭、支援員以外)	地域の人材を積極的に活用できましたか。	年度当初の計画以上にできた	ほぼ年度当初の計画通りにできた	年度当初に計画したことができなかった	年度当初に計画したことができなかった	100%	100%	100%			○	・コロナ禍ではあるが、積極的に感染予防策を取りながら、地域人材を活用した学習や家庭・地域との交流の場の設定することができている。
			37 成果 児童	地域の先生に教えてもらう学習は楽しく、よくわかりましたか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	90%	98%	100%			○	
			38 満足 保護者	学校は地域の人材を積極的に学習に生かしていると思いますか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	90%	98%	98%			○	
			39 満足 地域	学校は地域の人材を積極的に学習に生かしていると思いますか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	90%	100%	100%			○	
②ふるさとの良さを活かす学習の充実		40 取組 教職員(支援員以外)	たよりやホームページ等を通して地域と学校の交流の様子をわかりやすく伝えることができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	100%	100%	100%	○	・学校だよりは毎月の定期発行、学級だよりは学年ごとに頻繁に発行、ホームページは行事の度に更新と、学校の様子を保護者に伝える機会を設定できている。			
		41 満足 保護者	たよりやホームページ等を通して地域と学校の交流の様子がよくわかりましたか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	90%	96%	96%	○				
		42 満足 地域	たよりやホームページ等を通して地域と学校の交流の様子がよくわかりましたか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	90%	100%	100%	○				
③地域・ふるさとへの提言、未来創造的な学習の推進		43 取組 教職員(支援員以外)	生活科やふるさと学習では、地域に対する思いや考えを深める機会を設定することができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	100%	90%	100%	○	・地域を題材とした学習や地域の方との学習は、子どもたちにとって興味深く、魅力的なものになっている。今後も継続して取り組んでいく。			
		44 成果 児童	生活科やふるさと学習を通して、地域をよりよくするための意見を持つことができましたか。	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった	80%	86%	93%	○				